

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2019年11月25日まで（2014年11月20日設定）	
運用方針	米国株厳選投資戦略マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式等（預託証券（DR）を含みます。以下同じ。）に実質的な投資を行い、主として値上がり益の獲得をめざします。一部、米国以外の株式等に実質的な投資を行う場合があります。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	米国株厳選投資戦略マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン

愛称：USディスカバリー

第9期（決算日：2019年5月27日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン」は、去る5月27日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	ラッセル3000バリュ (配当込み、 円換算ベース)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
5期(2017年5月25日)	10,179	100	4.1	11,163.85	3.8	86.6	—	6.5	4,733
6期(2017年11月27日)	10,622	500	9.3	11,821.48	5.9	87.7	—	8.2	2,476
7期(2018年5月25日)	10,314	250	△0.5	12,011.70	1.6	92.5	—	5.4	2,002
8期(2018年11月26日)	10,178	150	0.1	12,171.27	1.3	90.5	—	5.7	1,634
9期(2019年5月27日)	10,459	400	6.7	12,306.13	1.1	92.2	—	2.8	1,518

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ラッセル3000バリュエインデックス(配当込み、円換算ベース)は、ラッセル3000バリュエインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル3000バリュエインデックス(配当込み)は、米国株式を対象としたラッセル3000インデックス構成銘柄のうち、相対的に株価純資産倍率(PBR)が低く、成長性も低いと予想される銘柄で構成されたインデックスです。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、Frank Russell Companyに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) ラッセル3000バリュエーションデックス ( 配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
( 期 首 ) 2018年11月26日	円 10,178	% —	% 12,171.27	% —	% 90.5	% —	% 5.7
11月末	10,502	3.2	12,563.17	3.2	91.4	—	5.6
12月末	9,272	△ 8.9	11,078.02	△9.0	91.1	—	5.3
2019年1月末	9,944	△ 2.3	11,762.49	△3.4	94.0	—	4.0
2月末	10,616	4.3	12,467.71	2.4	93.4	—	4.0
3月末	10,724	5.4	12,439.58	2.2	93.3	—	3.8
4月末	11,272	10.7	12,895.46	6.0	93.1	—	3.7
( 期 末 ) 2019年5月27日	10,859	6.7	12,306.13	1.1	92.2	—	2.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第9期：2018年11月27日～2019年5月27日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第9期首	10,178円
第9期末	10,459円
既払分配金	400円
騰落率	6.7%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

保有銘柄の株価が上昇したことなどが、基準価額にプラスに寄与しました。

#### 下落要因

為替市況で米ドルが対円で下落したことなどが、基準価額にマイナスに影響しました。

第9期：2018年11月27日～2019年5月27日

## 投資環境について

### ▶ 米国株式市況

期首から2018年12月までは、米中貿易摩擦の懸念が高まったことや、世界経済の不透明感の高まりなどから下落しました。2019年1月以降は、米国で雇用統計など好調な一部の経済指標の発表や、米連邦準備制度理事会（FRB）議長のハト派な発言などを背景に上昇しました。

### ▶ 為替市況

為替市況は、期首と比べて3.1%の円高・米ドル安となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン

米国株厳選投資戦略マザーファンドへの投資を通じて、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等（不動産投資信託証券（REIT）を含む）を高位に組み入れる運用を行いました。

### ▶ 米国株厳選投資戦略マザーファンド

基準価額は期首に比べ7.9%の上昇となりました。

長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等（REITを含む）への投資を継続しました。株式の組入比率については期を通じて高位を維持しました。

組入銘柄数については、入れ替えなどを行い26～29銘柄とし、期末は28銘柄としました。優秀な経営陣の下で、企業独自の要因に基づく業績伸長が期待できる企業などへの投資を行いました。

結果として、米ドルが対円で下落したことがマイナスに影響したものの、組入銘柄の株価上昇などから基準価額は上昇しました。

パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

## 上昇要因

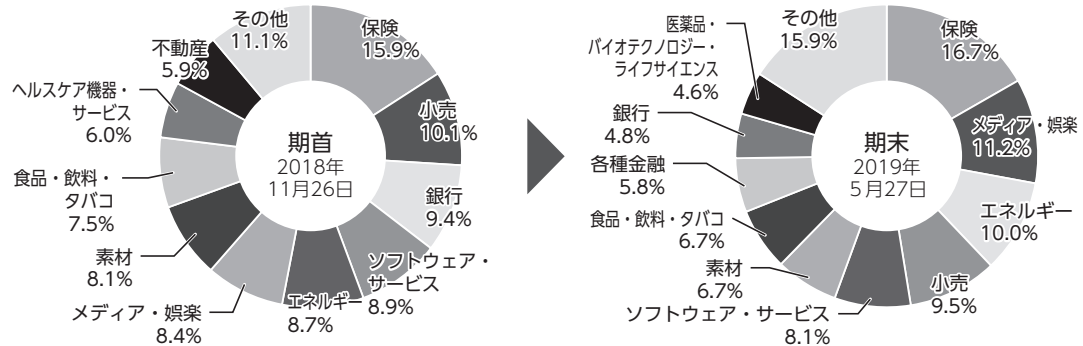
### 銘柄

FACEBOOK INC-CLASS A (メディア・娯楽)：モバイル向け広告ビジネスで圧倒的なシェアを持っていることから着実なキャッシュフローの増加を見込み、投資を行いました。広告事業が好調な中、市場予想を上回る2019年1－3月期決算を発表したことを受け、株価は上昇しました。

EURONET WORLDWIDE INC (ソフトウェア・サービス)：電子決済の利用拡大によって業績が伸長すると考え、投資を行いました。ATMや国際送金事業が好調に推移し、2018年10－12月期決算で1株当たり純利益が市場予想を上回ったことなどを背景に、株価は上昇しました。

### (ご参考)

#### ■組入上位10業種



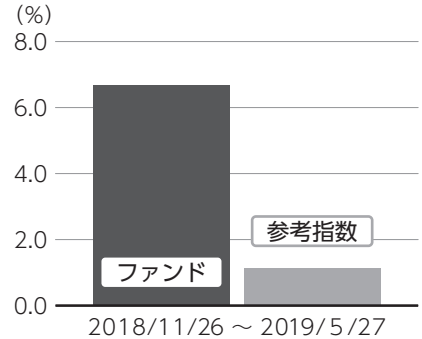
(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

(注) REITは不動産に含めて表示しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は、ラッセル3000バリュエインデックス（配当込み、円換算ベース）です。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第9期 2018年11月27日～2019年5月27日	
	当期分配金（対基準価額比率）	400
当期の収益	400	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	492	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



# 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

## ▶ 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン

### 今後の運用方針

マザーファンドへの投資を通じて、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等を高位に組み入れ、値上がり益の獲得をめざす運用を行います。

## ▶ 米国株厳選投資戦略マザーファンド

### 運用環境の見通し

米中貿易問題等でセンチメントが悪化し短期的に株価が変動するリスクは想定されますが、国内総生産（GDP）等の経済指標や企業決算を見ると米国経済は底堅い状況です。また、FRBがハト派的な姿勢を強めていることもあり、株価は堅調に推移するとみています。

### 今後の運用方針

引き続き強固なバランスシートを保ち、優秀な経営陣の下で、事業構造の改革等を通じて企業価値を拡大できる企業に対し、選別的に投資を行う方針です。

効率的な経営資本の配分を行い、収益性を向上させている企業や、キャッシュフロー創造力に対して株価が割安に評価されている企業に投資を行っていく方針です。

2018年11月27日～2019年5月27日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	107	1.019	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 65 )	( 0.617 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 39 )	( 0.375 )	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3 )	( 0.027 )	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.029	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 3 )	( 0.028 )	
( 投資信託証券 )	( 0 )	( 0.001 )	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 0 )	( 0.001 )	
( 投資信託証券 )	( 0 )	( 0.000 )	
(d) その他費用	3	0.026	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	( 0.025 )	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.002 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.000 )	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	113	1.075	

期中の平均基準価額は、10,460円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

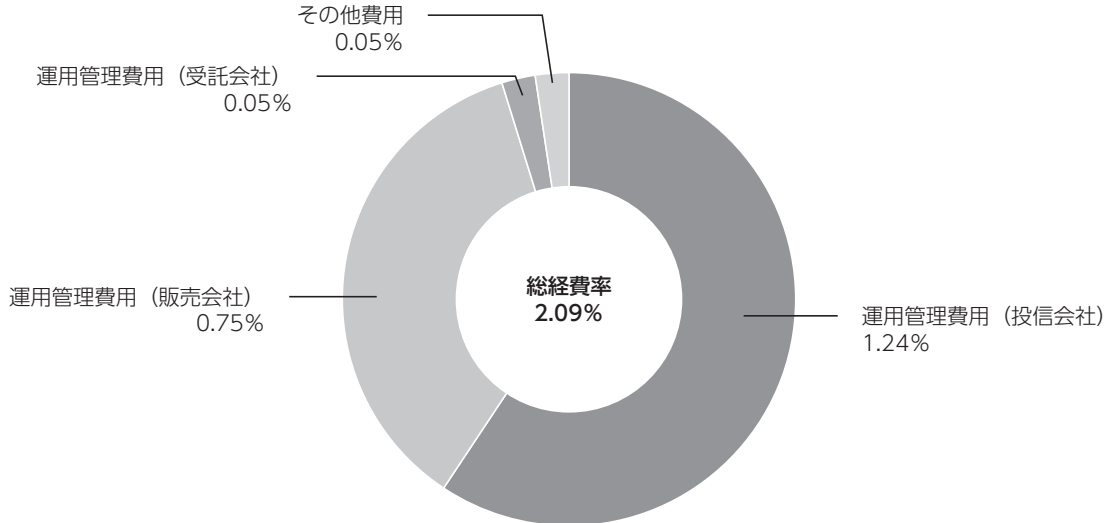
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.09%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月27日～2019年5月27日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
米国株厳選投資戦略マザーファンド	千口 18,207	千円 22,900	千口 199,468	千円 261,000

## ○株式売買比率

(2018年11月27日～2019年5月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	米国株厳選投資戦略マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,351,845千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,488,530千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月27日～2019年5月27日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン&gt;

該当事項はございません。

## &lt;米国株厳選投資戦略マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	22	—	—	259	116	44.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年5月27日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国株厳選投資戦略マザーファンド	千口 1,309,438	千口 1,128,177	千円 1,500,476

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
米国株厳選投資戦略マザーファンド	千円 1,500,476	% 94.2
コール・ローン等、その他	92,131	5.8
投資信託財産総額	1,592,607	100.0

(注) 米国株厳選投資戦略マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(1,558,078千円)の投資信託財産総額(1,598,394千円)に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.50円			
-----------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,592,607,782
コール・ローン等	17,731,618
米国株厳選投資戦略マザーファンド(評価額)	1,500,476,164
未収入金	74,400,000
(B) 負債	74,512,898
未払収益分配金	58,057,978
未払信託報酬	16,428,149
未払利息	22
その他未払費用	26,749
(C) 純資産総額(A-B)	1,518,094,884
元本	1,451,449,460
次期繰越損益金	66,645,424
(D) 受益権総口数	1,451,449,460口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,459円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,605,454,577円  
 期中追加設定元本額 14,461,881円  
 期中一部解約元本額 168,466,998円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0459円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2018年11月27日～ 2019年5月27日
費用控除後の配当等収益額	6,761,952円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	84,425,563円
収益調整金額	16,872,895円
分配準備積立金額	21,458,066円
当ファンドの分配対象収益額	129,518,476円
1万口当たり収益分配対象額	892円
1万口当たり分配金額	400円
収益分配金金額	58,057,978円

- ③「米国株厳選投資戦略マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の90以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○損益の状況 (2018年11月27日～2019年5月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,628
受取利息	1
支払利息	△ 3,629
(B) 有価証券売買損益	115,259,591
売買益	126,928,254
売買損	△ 11,668,663
(C) 信託報酬等	△ 16,454,936
(D) 当期損益金(A+B+C)	98,801,027
(E) 前期繰越損益金	13,844,554
(F) 追加信託差損益金	12,057,821
(配当等相当額)	( 16,869,474)
(売買損益相当額)	(△ 4,811,653)
(G) 計(D+E+F)	124,703,402
(H) 収益分配金	△ 58,057,978
次期繰越損益金(G+H)	66,645,424
追加信託差損益金	12,057,821
(配当等相当額)	( 16,872,895)
(売買損益相当額)	(△ 4,815,074)
分配準備積立金	54,587,603

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	400円
------------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2019年5月27日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

# 米国株厳選投資戦略マザーファンド

## 《第9期》決算日2019年5月27日

[計算期間：2018年11月27日～2019年5月27日]

「米国株厳選投資戦略マザーファンド」は、5月27日に第9期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	米国の株式等を主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。一部、米国以外の株式等に投資を行う場合があります。株式等への投資にあたっては、長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される企業の株式に厳選して投資を行います。株式等の運用にあたっては、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	円	騰落率	ラッセル3000バリュエインデックス (配当込み、円換算ベース)	ラッセル3000バリュエインデックス (配当込み、騰落率)				
5期(2017年5月25日)	10,989	5.2%	11,163.85	3.8%	87.6%	—	6.5%	4,677 百万円
6期(2017年11月27日)	12,139	10.5%	11,821.48	5.9%	87.9%	—	8.2%	2,470
7期(2018年5月25日)	12,188	0.4%	12,011.70	1.6%	93.2%	—	5.4%	1,987
8期(2018年11月26日)	12,331	1.2%	12,171.27	1.3%	91.6%	—	5.8%	1,614
9期(2019年5月27日)	13,300	7.9%	12,306.13	1.1%	93.3%	—	2.9%	1,500

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ラッセル3000バリュエインデックス（配当込み、円換算ベース）は、ラッセル3000バリュエインデックス（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。ラッセル3000バリュエインデックス（配当込み）は、米国株式を対象としたラッセル3000インデックス構成銘柄のうち、相対的に株価純資産倍率（PBR）が低く、成長性も低いと予想される銘柄で構成されたインデックスです。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、Frank Russell Companyに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。



○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) ラッセル3000バリュエインデックス (配当込み、 円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2018年11月26日	円 12,331	% —	12,171.27	% —	% 91.6	% —	% 5.8
11月末	12,731	3.2	12,563.17	3.2	91.6	—	5.6
12月末	11,256	△ 8.7	11,078.02	△9.0	91.3	—	5.3
2019年 1 月末	12,096	△ 1.9	11,762.49	△3.4	94.2	—	4.1
2 月末	12,936	4.9	12,467.71	2.4	93.6	—	4.0
3 月末	13,090	6.2	12,439.58	2.2	93.4	—	3.8
4 月末	13,781	11.8	12,895.46	6.0	93.3	—	3.7
(期 末) 2019年 5 月27日	13,300	7.9	12,306.13	1.1	93.3	—	2.9

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

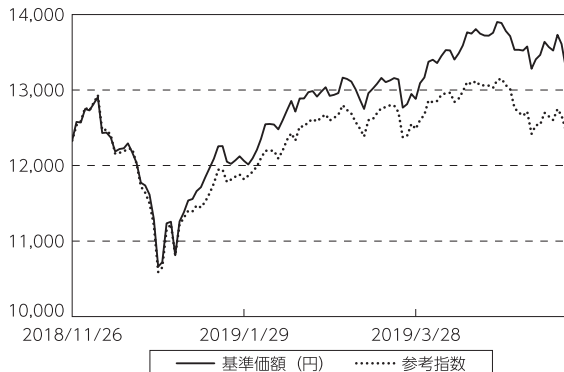
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎米国株式市況

・期首から2018年12月までは、米中貿易摩擦の懸念が高まったことや、世界経済の不透明感の高まりなどから下落しました。2019年1月以降は、米国で雇用統計など好調な一部の経済指標の発表や、米連邦準備制度理事会（FRB）議長のハト派な発言などを背景に上昇しました。

◎為替市況

・為替市況は、期首と比べて3.1%の円高・米ドル安となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・長期的に企業価値の拡大が期待できると判断される米国の株式等（REITを含む）への投資を継続しました。株式の組入比率については期を通じて高位を維持しました。  
・組入銘柄数については、入れ替えなどを行い26～29銘柄とし、期末は28銘柄としました。優秀な経営陣の下で、企業独自の要因に基づく業績伸長が期待できる企業などへの投資を行いました。

- ・結果として、米ドルが対円で下落したことがマイナスに影響したものの、組入銘柄の株価上昇などから基準価額は上昇しました。
- ・パフォーマンスに影響した銘柄は以下の通りです。

(上昇要因)

#### ◎銘柄

- ・FACEBOOK INC-CLASS A (メディア・娯楽): モバイル向け広告ビジネスで圧倒的なシェアを持っていることから着実なキャッシュフローの増加を見込み、投資を行いました。広告事業が好調な中、市場予想を上回る2019年1-3月期決算を発表したことなどを受け、株価は上昇しました。
- ・EURONET WORLDWIDE INC (ソフトウェア・サービス): 電子決済の利用拡大によって業績が伸長すると考え、投資を行いました。ATMや国際送金事業が好調に推移し、2018年10-12月期決算で1株当たり純利益が市場予想を上回ったことなどを背景に、株価は上昇しました。

#### ◎今後の運用方針

##### ◎運用環境の見通し

- ・米中貿易問題等でセンチメントが悪化し短期的に株価が変動するリスクは想定されますが、国内総生産(GDP)等の経済指標や企業決算を見ると米国経済は底堅い状況です。また、FRBがハト派的な姿勢を強めていることもあり、株価は堅調に推移するとみています。

##### ◎今後の運用方針

- ・引き続き強固なバランスシートを保ち、優秀な経営陣の下で、事業構造の改革等を通じて企業価値を拡大できる企業に対し、選別的に投資を行う方針です。
- ・効率的な経営資本の配分を行い、収益性を向上させている企業や、キャッシュフロー創造力に対して株価が割安に評価されている企業に投資を行っていく方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月27日～2019年5月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 4 (4) (0)	% 0.029 (0.028) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	3 (3) (0)	0.025 (0.025) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	7	0.055	
期中の平均基準価額は、12,749円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月27日～2019年5月27日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2,106 (△ 14)	千アメリカドル 5,229 ( - )	百株 1,731 ( 0.01)	千アメリカドル 7,004 ( - )

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	EQUITY COMMONWEALTH	-	-	14	449

(注) 金額は受渡代金。

## ○株式売買比率

(2018年11月27日～2019年5月27日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,351,845千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,488,530千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.90

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月27日～2019年5月27日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		B A	%		D C	%
為替直物取引	百万円 22	百万円 -	% -	百万円 259	百万円 116	% 44.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年5月27日現在)

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AFLAC INC	—	136	707	77,453	保険
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	95	—	—	—	保険
BALL CORP	39	—	—	—	素材
CVS HEALTH CORP	83	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	180	80	418	45,837	食品・飲料・タバコ
NOBLE ENERGY INC	143	69	150	16,469	エネルギー
RENAISSANCERE HOLDINGS LTD	54	22	397	43,511	保険
SEALED AIR CORP	106	114	475	52,054	素材
COMERICA INC	69	—	—	—	銀行
VERINT SYSTEMS INC	150	84	475	52,114	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	5	5	669	73,310	メディア・娯楽
EURONET WORLDWIDE INC	52	37	595	65,212	ソフトウェア・サービス
E*TRADE FINANCIAL CORP	98	52	246	27,035	各種金融
ALLSCRIPTS HEALTHCARE SOLUTI	214	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
SKYWEST INC	—	34	203	22,319	運輸
EQT CORP	213	276	536	58,721	エネルギー
ASSOCIATED BANC-CORP	181	—	—	—	銀行
BROWN & BROWN INC	205	150	479	52,488	保険
LKQ CORP	288	260	690	75,588	小売
ENERGEN CORP	33	—	—	—	エネルギー
ALLERGAN PLC	38	44	605	66,327	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CROWN HOLDINGS INC	111	68	412	45,158	素材
FACEBOOK INC-CLASS A	46	44	805	88,226	メディア・娯楽
DIAMONDBACK ENERGY INC	—	35	369	40,413	エネルギー
ARAMARK	—	161	508	55,707	消費者サービス
KRAFT HEINZ CO/THE	49	—	—	—	食品・飲料・タバコ
FIRST HAWAIIAN INC	—	120	313	34,310	銀行
LIBERTY EXPEDIA HOLD-A	159	136	567	62,121	小売
KOSMOS ENERGY LTD	—	423	261	28,592	エネルギー
CBOE GLOBAL MARKETS INC	—	48	513	56,212	各種金融
ESSENT GROUP LTD	92	—	—	—	銀行
VISTRA ENERGY CORP	—	244	599	65,646	公益事業
NCR CORPORATION	179	124	388	42,568	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MERCURY GENERAL CORP	86	108	618	67,763	保険
EQUITRANS MIDSTREAM CORP	120	—	—	—	エネルギー
HOSTESS BRANDS INC	—	347	459	50,356	食品・飲料・タバコ
KEARNY FINANCIAL CORP/MD	—	227	313	34,367	銀行
合 計	株 数	金 額	株 数	金 額	
	3,100	3,460	12,784	1,399,887	
銘 柄 数 < 比 率 >	27	27	—	< 93.3% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) EQUITY COMMONWEALTH	千口 26	千口 12	千アメリカドル 392	千円 42,972	% 2.9
合 計	口 数 ・ 金 額 26	口 数 12	392	42,972	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<2.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,399,887	% 87.6
投資証券	42,972	2.7
コール・ローン等、その他	155,535	9.7
投資信託財産総額	1,598,394	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(1,558,078千円)の投資信託財産総額(1,598,394千円)に対する比率は97.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.50円			
-----------------	--	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,670,657,415
コール・ローン等	49,837,591
株式(評価額)	1,399,887,899
投資証券(評価額)	42,972,333
未収入金	176,630,013
未収配当金	1,329,579
(B) 負債	170,197,782
未払金	95,797,761
未払解約金	74,400,000
未払利息	21
(C) 純資産総額(A-B)	1,500,459,633
元本	1,128,177,567
次期繰越損益金	372,282,066
(D) 受益権総口数	1,128,177,567口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,300円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 1,309,438,347円  
 期中追加設定元本額 18,207,840円  
 期中一部解約元本額 199,468,620円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3300円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 三菱UFJ 米国株厳選投資戦略オープン 1,128,177,567円

## ○損益の状況 (2018年11月27日～2019年5月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	8,285,697
受取配当金	8,125,281
受取利息	165,204
支払利息	△ 4,788
(B) 有価証券売買損益	115,952,537
売買益	211,640,175
売買損	△ 95,687,638
(C) 保管費用等	△ 399,932
(D) 当期損益金(A+B+C)	123,838,302
(E) 前期繰越損益金	305,282,984
(F) 追加信託差損益金	4,692,160
(G) 解約差損益金	△ 61,531,380
(H) 計(D+E+F+G)	372,282,066
次期繰越損益金(H)	372,282,066

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。